

取扱説明書

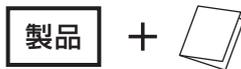
STING 80

回転信号タイプ

タコメーター STT-8

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

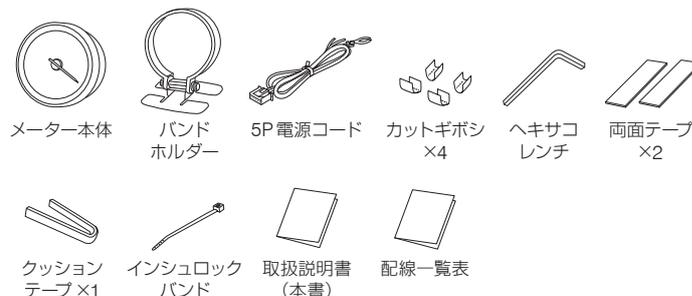
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



目次

セット内容・警告・注意	1
特長	1
各部の名称と表示範囲	1
配線接続方法	2
各種設定	3
製品の固定	4
基本動作	4
故障かな?と思ったら	4

内容物をご確認ください



警告 下記を無視した場合、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 取付けには専門知識が必要です。不安な方は専門店や修理工場にご依頼ください。
- 装着中ガソリンへの引火がないように細心の注意を払ってください。
- 装着後ガソリン、オイル、空気などの漏れがないか確認を十分行ってください。
- 鉄板やネジでコードが裂けてショートしないように配線してください。
- 換気の悪い場所での作業は行わないでください。
- 製品は脱落し運転に支障を来さないように確実に固定してください。

注意 下記を無視した場合、人が傷害を負う可能性及び製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- 本製品は12V車専用で他の電圧車には使用できません。
- 夜間照明が眩しく感じる場所は避け向きなどを調整してください。
- 両面テープ固定後数時間は強い力をかけないでください。
- 製品は高温な場所や水がかかる場所を避けて設置してください。
- 製品を解体、分解、他の用途への使用などは行わないでください。

特長

最新技術のクラシックデザイン!

反射式照明

文字と針照明はクラシックな反射式。

軽量針

針は限界まで軽量化されレスポンス性に優れた動作。

オートピーク表示

エンジン始動中のピーク値をエンジン停止後に表示。

簡単装着のワンボディ

別ユニット不要でメーター部のみで簡単に装着できます。

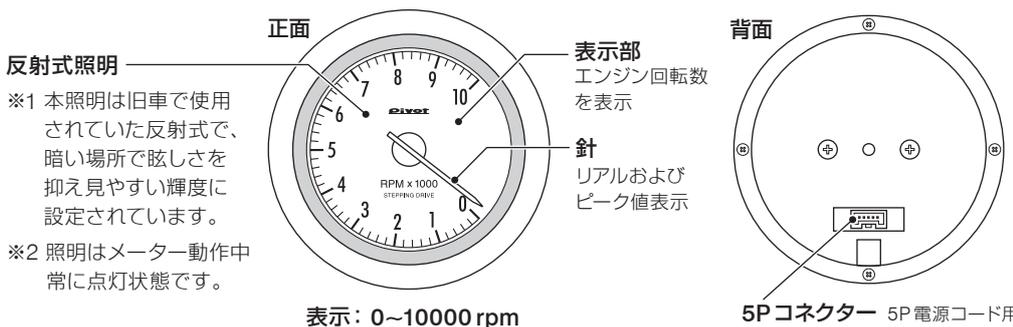
高精度ステッピングモーター

コイル式のように指針のオーバーシュートがなくレスポンスのいい動作。

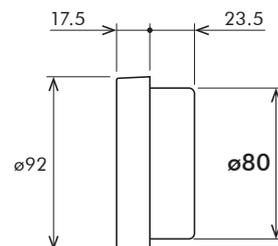
バンドホルダー付属

様々な場所にメーターを設置しやすいバンドホルダーを付属。

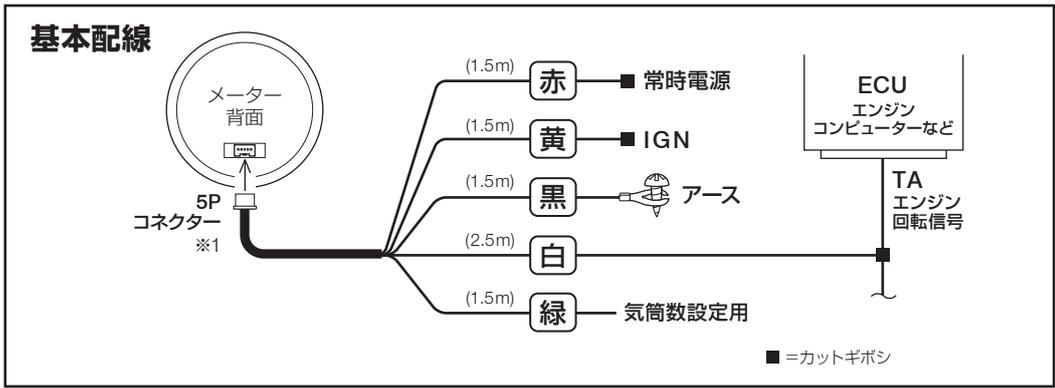
各部の名称と表示範囲



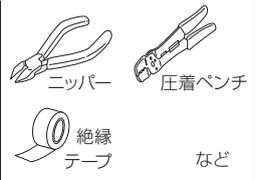
サイズ [単位: mm]



配線接続方法



装着時に準備する道具と材料



⚠️
安全のため、配線作業時は
バッテリーの⊖端子を
外してください。

常時電源

赤 常時+12Vの場所へ付属の
カットギボシを使用し、
接続する。
(IGN・ACC不可)

IGN

黄 キースイッチONで+12Vの
場所へ付属のカットギボシを
使用し、接続する。
(常時・ACC不可)

アース

黒 アースが取れる金属部のネジに固定する。
プラスチック部や塗装したネジではアースが
取れませんので、確実にアースの取れる場所
で固定してください。

エンジン回転信号

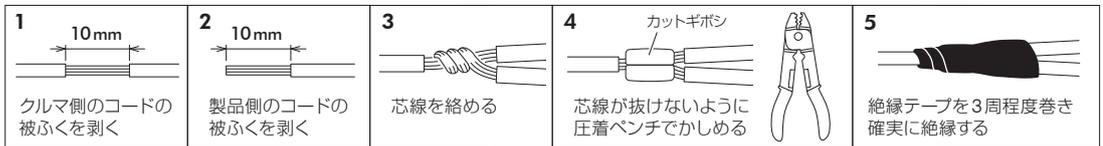
白 別紙「配線一覧表」で位置を確認し、
付属のカットギボシを使用して接続する。
接続は車輛側コードの指示された場所に行ってください。

気筒数設定

緑 3ページ「気筒数設定」に従い
気筒数の設定を行う。
緑コードは設定完了後に絶縁処理をする。

※1 故障の原因となるため、別の品番の5Pコネクタを接続しないようにご注意ください。

カットギボシの使い方



⚠️ ECUの回転信号に他の機種が接続されている場合

- 両方接続しても正常に動作する
 - ▶ そのまま使用可能。
- 動作しない、または不安定な動作をする
 - ▶ ECUの配線への接続をやめ、イグニッションコイル、またはダイアグノシスへの接続に切り換える。(下記参照)

⚠️ 回転信号をエンジンコンピューター以外からとる場合

● ダイアグノシス (チェックコネクタ) からとる場合

例：ロードスター (NA6C) の場合

回転信号の位置 (IG⊖)

● イグニッションコイルからとる場合

イグニッションコイル

● ダイレクトイグニッションコイルの点火信号からとる場合

ダイレクトイグニッションコイル

点火信号

上記の接続をして回転数表示が極端に少ない場合

例：6気筒車で純正タコメーターが3000rpmの時に500rpmを表示する。
原因：取り付けたクルマが独立点火式のため。

気筒設定数を「1」にします。⇒ 3ページ
設定A 気筒数設定

※ 気筒数設定を「1」にします。
※ 点火信号の配線位置は車種によって異なります。

各種設定

準備 取り付ける車の気筒数、サイクル数をご確認ください。

設定 A 気筒数設定

クルマごとの気筒数を設定します。気筒数は針の位置で設定します。
(出荷時は4気筒に設定されています)

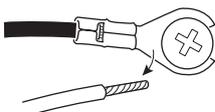
1  エンジンは始動しないで
キースイッチ ON ▶ 針がオープニング動作後に
0を指す

2 緑コードの先端の被ふくをむき
芯線を車輛のアースへ4秒間当てる

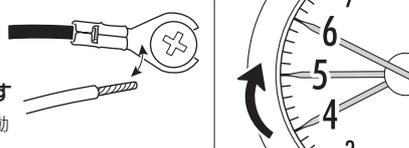
※ アース用ネジは金属に固定されたネジで、
プラスチックへの固定ネジや塗装ネジでは
通電しません。



3 針が現在の設定値を指したら
芯線をアースから離す



4 設定する気筒数の
針位置まで
緑コードの芯線を
アースに接触させ離す
針は4→5→6→8…と移動



気筒数	針	車種
1	1	日産車(フェアレディZ Z33)・マツダ車(アテンザ等)※
2	2	マツダ車(RX-8)・スバル車(プレオ初期型等)※
※ 1気筒、2気筒設定の場合、 設定B 信号レベル切り換え で 信号検出レベルを2に設定してください。		
3	3	3気筒車
4	4	4気筒車・ロータリー車(RX-7)
5	5	5気筒車
6	6	6気筒車
8	8	8気筒車
特A	9	日産マーチ/キューブ等の一部車種

 2サイクル車の場合は、気筒数を2倍にて設定してください。
(例：2サイクル3気筒車の場合⇒6気筒設定)

5 キースイッチ OFFで針が0へ移動し
イルミ消灯後に一目盛り右へ移動 ▶ **設定完了**

※ 緑コードは設定完了後に絶縁処理をしてください。

設定 B 信号レベル切り換え

回転信号の検出レベルを切り換えます。

下記以外の車種は切り換えの必要はありません。

日産(フェアレディZ Z33)、マツダ(H14年以降の一部)、
三菱(コルト他)、スバル(プレオ初期型等)

※詳細は、別紙「配線一覧表」をご覧ください。

 配線
一覧表

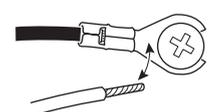
1  エンジンは始動
しないで
キースイッチ ON ▶ 針がオープニング
動作後に0を指す

2 緑コードの先端の被ふくを
むき芯線を車輛のアースへ
8秒間当てる



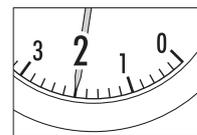
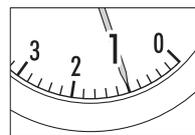
3 8秒後に針が0に戻り
現在の設定値を指す(1または2)

4 設定するレベルの針位置
まで緑コードの芯線を
アースに接触させ離す



1 = 一般の場合

2 = レベルが小さい場合



5 キースイッチ OFFで針が
0へ移動しイルミ消灯後に
一目盛り右へ移動 ▶ **設定完了**

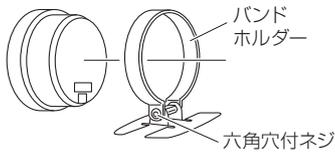
※ 緑コードは設定完了後に絶縁処理をしてください。

製品の固定

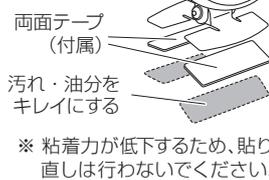
バンドホルダーを使用する場合

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

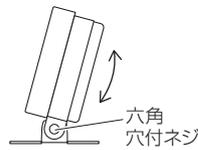
1 ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。



2 両面テープで固定する。



3 見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。



様々な場所に取付可能
両面テープで様々な場所に取り付けられ、取り付け後の角度調整も可能です。



●Aピラーやコラムカバーなどに穴開け固定する場合は別売のピラーホルダーをご使用ください。

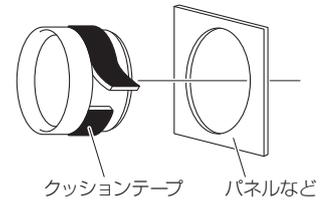
ピラーホルダー φ80用
品番：PH-80



パネルなどに埋め込む場合

1 メーターの根元にクッションテープを巻く。

2 直径 80mm の穴に圧入状態で差し込む。

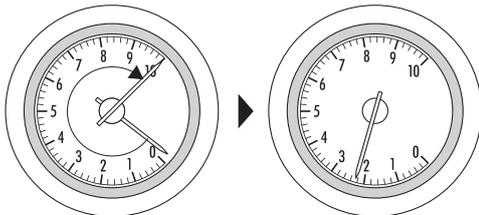


基本動作

エンジン始動 ▶ 針がオープニング動作後にデータ表示。

オープニング動作

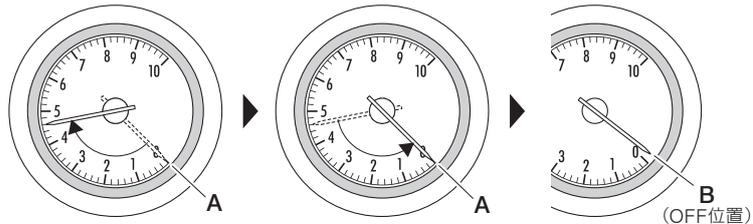
データ表示



- ※ 始動時のオープニング動作はステッピングモーターの針位置設定に必要な動作です。
- ※ コネクタ装着後またはバッテリー交換後は、初回のみオープニング動作が長くなります。

エンジン停止 ▶ 針がAの位置からピーク値を数秒間表示。ピーク値表示後、針がAの位置へ移動し、イルミ消灯後にB (OFF位置) へ移動。

ピーク値 (最高) 表示



- ※ ピーク値はエンジン始動後の最高値です。
- ※ OFF位置後に再始動するとピーク値はリセットされます。
- ※ OFF後、針が多少動く場合がありますが故障ではありません。

故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
メーターが動かない。	5Pコネクタ 赤 黄 黒 コードの接続不良。	再度ご確認ください。
オープニング動作はするが表示しない。	白 コードの接続不良。	再度ご確認ください。
	信号検出レベルがあていない。	「信号レベル切り換え」と配線一覧表を参照し、確実に設定してください。
	別の品番の5Pコネクタを接続している。	「配線接続方法」をご確認ください。
表示が車輛メーターなどよりもズれる。	気筒数設定があていない。	「気筒数設定」をご参照の上、確実に設定してください。
	信号検出レベルがあていない。	「信号レベル切り換え」と配線一覧表を参照し、確実に設定してください。
各種設定ができない。	赤 黄 コードの配線間違い。	必ず 赤 コードは常時電源、 黄 コードはIGN電源へ接続してください。
オートピークが表示されない。		
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーのマイナス端子を外したことによる。	バッテリーのマイナス端子を戻し、車輛の説明書に従って再設定してください。

※ 弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※ 意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※ PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。